

夢を追って！

長く寒い冬も終わりを告げ、少しずつ日も長くなり、春の扉が開かれようとしています。

います。神石小学校では、この三学期、「なわとびをがんばった。」という声をよく聞きました。なぜかと考えると、「目標をもって取り組んだこと」や「友達と協力」したこと」が成果として表れたからだと思います。このような取組は、来年度以降も続けていきたいと思っています。

さて、先日から、児童の現在の気持ちをしっかりと聴く「面談」を行っています。担任や担任以外の職員に自分の学校での様子や気持ちを伝えます。「毎日が楽しい。」と言える子もいれば、「〇〇の勉強が苦手なんです。」と正直に言ってくれる子もいます。そんな中、「今の夢は何？」と訊くと、「優しい人。」「大工さん。」と答える子がいる一方、急に「うーん。」と言葉に詰まる子もいます。小学生にとっての夢は、まだぼんやりしているのでしょうか。

大リーグで活躍している大谷翔平選手は、高校生の時、「人生が夢をつくるんじゃない。夢が人生をつくるんだ。」と、ノートに記したそうです。「ぼんやりと生きているだけでは、大きな夢はつかめない。確かな夢をもち、それを目標に人生設計をしていくこそ大事なことだ。」と言っているようです。子供達は気付いていないかもしれませんが、確かな目標をもってなわとびへ取り組んだようなこそが大事なのですね。

来る、三月二十四日には、第五十九回神石小学校卒業証書授与式を行います。今年度は、九名の六年生がこの神石小学校を巣立っていきます。九名の六年生の皆さん、「卒業おめでとうございませう。卒業生が、大きな夢(目標)をもち、そこに向かって努力し、羽ばたいていくことを期待しています。今年度「パス&ゴール大作戦」を合い言葉に、いろいろなことに挑戦し成長した自分を信じて、中学校・新しい学年での新たな生活・夢の実現に向かって歩んでいってほしい。地域の皆様・保護者の皆様、これまで子ども達を「神石地域の宝」として、温かなご支援とご指導を賜り本当にありがとうございました。九名の卒業生は、神石小学校の学び舎を巣立っていきますが、これからも変わりなく、在校生達を見守り励ましていただきますようお願い申し上げます。この一年間、神石小学校に対して皆様からいただきましたご支援ご協力に心より感謝申し上げます。、年度終わりのあいさついたします。

校長 田丸 栄